

平成 28 年度 海上の森保全活用事業の取組状況について

「あいち海上の森条例」（平成 18 年 4 月 1 日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	体験学習プログラム「里と森の教室」で使用する農地の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.75ha
森林の維持管理事業	林道維持管理工事	9月19～22日の降雨による林道被害の復旧
	森林育成事業	人工林の間伐（ヒノキ 22～60年生）3.55ha
	巡視の励行	散策者の安全確保等のため、落枝除去・歩道等の点検と巡視
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、草刈等を実施（境界伐開 250㎡、農地草刈 0.81ha）	
遊歩施設整備	本館ウッドデッキ屋根設置工事	雨天時及び夏場の日よけのため、センター本館 2F 工作室前に屋根（16㎡）を設置
	幼児森林体験フィールド入口工事	降雨時に幼児森林体験フィールド入口階段からの雨水及び土砂の流出を防止する工事（柵工 16m 横断排水溝 2箇所、水路工 7.0m）
	海上の森自然歩道環境改善事業	危険木、生育不良木等の伐採による環境改善を実施 伐倒 80 本、草刈 1.32ha
	海上の森湿地光環境改善業務	シデコブシの保全のための、自生地周辺人工林の伐採、天然林の除伐（0.28ha）
自然環境調査事業	貴重種等注目植物種調査	海上の森の多様性の保全と、貴重種等注目植物種の保全をはかるため、貴重種等注目植物の生育状況を調査
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第 6 号としてとりまとめ

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目		取組状況				
		行事名等	定員 (人)	参加数 (人)	参加率 (%)	
体験学習の実施 (体験学習プログラム)	里と森の教室	畑作、稲作体験	10回セット	30	41	137
		稲作体験	5回セット	20	21	105
		計		50	62	124
		スペシャリスト養成コース		若干名	0	-
	調査学習会	初夏の海上の森(花、虫、鳥)		20	20	100
		海上の森のキノコ		30	33	110
		海上の森の水生生物		20	20	100
		初秋の海上の森(花・虫・鳥)		20	11	55
		計		90	84	93
	森の楽校	遊歩施設・幼児体験フィールドを活用した森林環境教育(2回)		120	147	123
	計		260	293	113	
多様な主体の参加の促進	県民や県民参加組織との連携	海上の森の会との連携 サポーター制度 39名の登録				
	企業との連携	28年度活動した企業5社 豊田自動織機、トーマツ、伊藤園、カルビー、CKD 森林整備面積:2.51ha				
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット)との情報交換(2回)				
	大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携	<講義・実習> 名古屋大学、南山大学、愛知工業大学 <団体・環境教育> 瀬戸市、幡山東小学校、南山大学附属小学校、はちまん幼稚園、真貴幼稚園他、情報労連他 <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査、名古屋大学、南山大学、愛知工業大学、愛知学院大学				

(2) 人材育成

事業	項目	内容
人と自然の共生 国際フォーラム	テーマ	自然と共に歩む明日をつくろう ～「海上の森」未来へつなぐ里山の絆～
	実施日	平成 28 年 10 月 29 日 (土) ・ 30 日 (日)
	場 所	ウィルあいち 3 階 大会議室 (10/29) あいち海上の森センター(10/30)
	プログラム	10 月 29 日 ・ 開催の式典 ・ 特別講演 ・ パネルディスカッション ・ フォーラム宣言 10 月 30 日 ・ 記念除幕式 ・ 活動発表会 ・ 意見交換会
	講演者等	○特別講演：アレックス・カー ○パネルディスカッション コーディネーター：川井秀一氏 コメンテーター：稲垣隆司氏 オブザーバー；マリ クリスティーン氏 パネリスト：香坂玲氏、川尻 秀樹氏、伊藤 栄一氏
	運 営	※人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して 実施 委員会 2 回開催、委員長：森岡副知事
	参加者数	800 名
あいち 海上の森大学	講座及び実施期間	環境教育コース（森の保育者養成講座）5/7～6/18 5 日間 森林再生コース（森女養成講座）9/11～11/20 6 日間 里山文化コース（里山暮らし講座）1/15～2/12 5 日間 基礎講座 2/26～3/5 3 日間
	場 所	あいち海上の森センター研修室・海上の森
	運 営	学 長 マリ クリスティーン氏 副学長 稲垣元副知事 ※ 大学運営委員会で内容検討 1 回開催
	修了者数/ 受講者数	環境教育コース 10 人/15 人、森林再生コース 9 人/10 人 里山文化コース 8 人/10 人
ミニセミナー	開催日数	6/16～3/25 計 8 回 2 月末現在延べ 134 名

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

事業項目	取組状況
学習プログラムの作成・提供	学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布
自然環境情報等の収集整理・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・インターネット、SNSでの情報発信 ・「ムーアカデミー通信」の発行 3回 ・「海上の森調査報告書第6号」の発刊 ・ミニセミナーの開催 <p style="text-align: right;">書籍の購入</p>

4 センターの整備と運営

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	<p>施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など</p> <p>○施設利用者数（平成29年2月末現在） あいち海上の森センター 16,140人（累計 227,736人） 有料施設利用件数 工作室 1件 研修室 10件 幼児森林体験フィールド 14回、786人</p> <p>○スタンプラリーの実施（平成29年2月末現在） 36名（H19.10.20から 累計1,464人）</p>
海上の森運営協議会	<p>2回（平成28年9月30日、平成29年3月22日）開催</p> <p>○平成28年度海上の森保全活用事業の取組 ○平成29年度海上の森保全活用事業の実施計画 ○海上の森保全活用計画2025の進捗管理 ○海上の森センター管理運営のあり方</p>